

運動の楽しさや喜びを味わえる学習指導の工夫 ～「多様な動きをつくる運動」において、「気づき」を生む学習環境を中心に～

沖縄市立美里小学校
教諭 玉城 和 機

I テーマ設定の理由

子ども達を取り巻く環境を表す言葉として「3間（時間・空間・仲間）がない」と使われる。都市化や情報化等による社会環境の変化や生活様式の多様化等に伴い、子ども達の身体活動も変化してきた。ライフスタイルの変化は子ども達の体力・運動能力の低下という問題を生み出した。また、運動に対して関心を持ち積極的に活動する子とそうでない子との二極化も問題となって久しい。

新しい学習指導要領体育科改訂の方針の一つとして、体力の向上を重視し、「体づくり運動」の一層の充実を図るとともに、学習したことを家庭などで生かすことができるようにすることとした。その「体づくり運動」は体育科で唯一、小学校1年から高等学校3年までの12年間を貫く領域である。さらに学校教育法で「生涯にわたり学習する基盤を培うこと」と規定されたことを受け、体育科の目標に「生涯にわたって」という言葉も挿入された。あわせて考えると、子ども達の「体力向上の基礎」を育むことを小学校の体育科教育に、より一層強く求められている。

本校児童の実態に目を向け、体力テストの結果を数値からみると沖縄県の平均と大きな違いは見られず、全国的な体力の低下と同じ傾向である。また、運動機会について本学級児童の放課後や休日の活動を見た場合、半数以上が運動（運動遊び）の習慣がない。先に挙げた「体力の低下」「二極化」の問題は本校にも見られる。

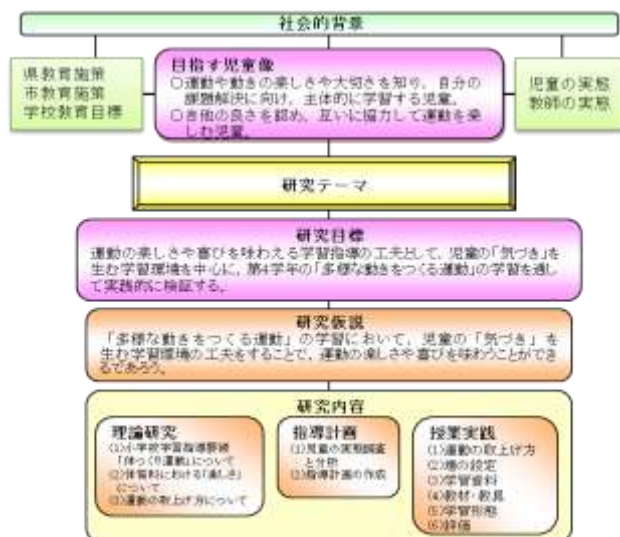
これまでの「体づくり運動」の学習指導を振り返ってみると、教師から多くの運動を提示し、児童とともに楽しい雰囲気をつくって運動したり、記録を残せるような学習カードを工夫してきた。しかし、教師が紹介した運動をしていく中で、一時的なおもしろさは味わったものの、体への気づきや運動

の楽しさを味わわせることはできなかった。このことは、運動の「楽しさを見い出せない子ども達」がいるのではなく、私自身、教師が子ども達に「楽しさを見い出させることができなかった」という教材研究の不足が反省点として挙げられる。つまり、運動する中で「発展させた動きを仲間と創っていくことの楽しさを味わう」「自分の体力やその成長に気づき、さらに高めようとする気持ちを育む」という「体づくり運動」のねらいを達成できなかった。

その課題解決のために、運動そのものが持つ楽しさを追究し、それを子ども達が実感できるような指導の工夫が必要である。あわせて、施設・用具・空間などの物理的な場、仲間とのかかわりの中で学ぶ社会的な場、教師の指示や発問、学習資料の掲示や時間の確保等の「学習環境」についての工夫も重要になる。

そこで、本研究では、「体づくり運動」領域の「多様な動きをつくる運動」において、子どもの「気づき」を生む学習環境の工夫をすることで、運動の楽しさや喜びを味わわせることができるであろうと考え、本テーマを設定した。

II 研究構想図



Ⅲ 研究内容

1 理論研究

(1) 小学校学習指導要領「体づくり運動」について

① 体づくり運動領域の内容

② 多様な動きをつくる運動

低・中学年において、発達の段階から体力を高めることを学習の直接の目的とすることは難しいが、将来の体力の向上につなげていくためには、この時期にさまざまな体の基本的な動きを培っておくことが重要である。

(2) 体育科における「楽しさ」について

児童が「楽しさ」を味わうには、主体的な学習が不可欠であり、その主体的な学習を引き出すためには、授業の中に「気づき」がなければならない。ここでいう「気づき」とは「自分や他者への気づき」「活動そのものからの気づき」「文化への気づき」等をさす。本研究では、学習環境を「運動」「教材・教具・学習資料」「自己と他者とのかかわり」とした。これらを追究することにより、学習環境として挙げたそれぞれに、気づきの要素を見出す。つまり、学習環境を工夫し、児童の気づきを生むことが、児童の主体的な学習をつくり、楽しさを味わわせることができるようになる。そこで、「多様な動きをつくる運動」の授業づくりについて、高田典衛氏（1985）の「よい体育授業の楽しさ四原則」を視点に考える。

① 動く楽しさ

運動を行うだけで楽しさを味わえるような運動種目の提供が大切になる。それは、誰にでもできる易しい動きでなければならない。

② 伸びる楽しさ

児童自身に自己の成長を感じ取らせるためには、取り上げる運動を「数値化した記録」が残せるものとする。

③ 解かる楽しさ

「なぜできたのか」を自分なりの解釈で説明できたときに楽しさを感じる。その子なり

の動きの解釈をワークシートに整理させる。

④ 集う楽しさ

他者とかかわらなければできないような場面を意図的に仕組む。そうすることにより、相互理解や自己有能感を味わわせることができ、さらなる運動への意欲付けができる。

(3) 運動の取上げ方について

「多様な動きをつくる運動」の学習を効果的に行うことや、他領域の運動学習をより深いものにするため、「多様な動きをつくる運動」との「動きの関連性」を考えた上での配置が重要になってくると考える。

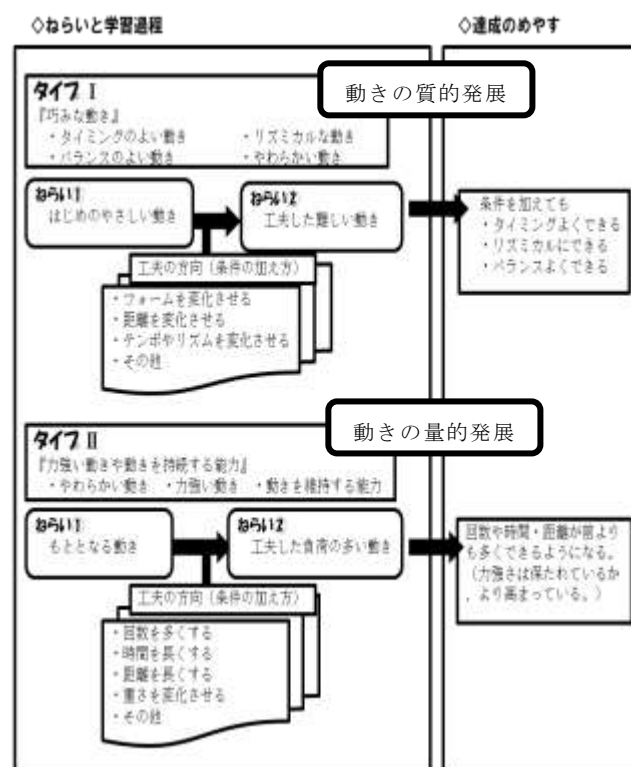
① 単元の位置づけ

ア 単独単元

イ 組み合わせ単元

② 学習過程

高橋建夫氏・三木四郎氏（1995）の作成した図を神家一成氏（2008）は「体力を高める運動の学習過程を『動きの質的发展』と『動きの量的发展』に分けて考えることができる。」としている。このような考え方をもとに、児童に提供する運動種目を効果的に配置した学習過程を作成した。



③運動種目の選定

「誰にでも取り組める易しい動き」を基にした運動種目の選定が必要だと考える。また、動きに段階をつけることで、児童自身が自分の位置や上達の具合を感じ取ることができる。また、動きを工夫することで発展させたり、基本的な動きの組み合わせを児童が創ったりすることで、喜びを味わうことができる。

2 指導計画

(1)児童の実態調査と分析

【全体の考察】

仲間とのかかわりを通して、お互いの良さを認め合いながら学び、運動の特性にふれることができるように、取り上げる運動種目の特性に応じた学習形態の工夫や、学習展開の工夫をしたい。そのために、以下の3つを授業づくりの視点とする。

- 「誰にでもできる易しい動き」を基にして学習を組み立てる。
- 発展性・創造性のある運動を児童に提供することにより、運動の楽しさを味わえるようにする。
- 仲間とかかわりを持ちながら、運動を楽しむ。

(2)指導計画の作成

1	2	3	4	5	6	7	8
ねらい1 いろいろな動きを試しながら、 ★動き・時間・場所・道具・人数・回数・回数・回数				ねらい2 道具の特性を活かして、動きで遊びを創り出す。時間を効率的に過ごし、 動きを工夫する。動きを工夫して遊び、発展させていく。 ★動き・時間・場所・道具・人数・回数・回数			
1. 学習の準備とあそびを始める。 (1) 準備運動をする。安全に遊ぶための約束をする。 (2) 準備運動の後に、安全に遊ぶための約束をする。				1. 学習の準備とあそびを始める。 (1) 準備運動をする。安全に遊ぶための約束をする。 (2) 準備運動の後に、安全に遊ぶための約束をする。			
2. “いろいろな動きを試しながら”運動の楽しさを味わう。 (1) アップダウン運動 (2) アップダウン運動 (3) アップダウン運動 (4) アップダウン運動 (5) アップダウン運動 (6) アップダウン運動 (7) アップダウン運動 (8) アップダウン運動 (9) アップダウン運動 (10) アップダウン運動 (11) アップダウン運動 (12) アップダウン運動 (13) アップダウン運動 (14) アップダウン運動 (15) アップダウン運動 (16) アップダウン運動 (17) アップダウン運動 (18) アップダウン運動 (19) アップダウン運動 (20) アップダウン運動 (21) アップダウン運動 (22) アップダウン運動 (23) アップダウン運動 (24) アップダウン運動 (25) アップダウン運動 (26) アップダウン運動 (27) アップダウン運動 (28) アップダウン運動 (29) アップダウン運動 (30) アップダウン運動 (31) アップダウン運動 (32) アップダウン運動 (33) アップダウン運動 (34) アップダウン運動 (35) アップダウン運動 (36) アップダウン運動 (37) アップダウン運動 (38) アップダウン運動 (39) アップダウン運動 (40) アップダウン運動 (41) アップダウン運動 (42) アップダウン運動 (43) アップダウン運動 (44) アップダウン運動 (45) アップダウン運動 (46) アップダウン運動 (47) アップダウン運動 (48) アップダウン運動 (49) アップダウン運動 (50) アップダウン運動 (51) アップダウン運動 (52) アップダウン運動 (53) アップダウン運動 (54) アップダウン運動 (55) アップダウン運動 (56) アップダウン運動 (57) アップダウン運動 (58) アップダウン運動 (59) アップダウン運動 (60) アップダウン運動 (61) アップダウン運動 (62) アップダウン運動 (63) アップダウン運動 (64) アップダウン運動 (65) アップダウン運動 (66) アップダウン運動 (67) アップダウン運動 (68) アップダウン運動 (69) アップダウン運動 (70) アップダウン運動 (71) アップダウン運動 (72) アップダウン運動 (73) アップダウン運動 (74) アップダウン運動 (75) アップダウン運動 (76) アップダウン運動 (77) アップダウン運動 (78) アップダウン運動 (79) アップダウン運動 (80) アップダウン運動 (81) アップダウン運動 (82) アップダウン運動 (83) アップダウン運動 (84) アップダウン運動 (85) アップダウン運動 (86) アップダウン運動 (87) アップダウン運動 (88) アップダウン運動 (89) アップダウン運動 (90) アップダウン運動 (91) アップダウン運動 (92) アップダウン運動 (93) アップダウン運動 (94) アップダウン運動 (95) アップダウン運動 (96) アップダウン運動 (97) アップダウン運動 (98) アップダウン運動 (99) アップダウン運動 (100) アップダウン運動				2. “いろいろな動きを試しながら”運動の楽しさを味わう。 (1) アップダウン運動 (2) アップダウン運動 (3) アップダウン運動 (4) アップダウン運動 (5) アップダウン運動 (6) アップダウン運動 (7) アップダウン運動 (8) アップダウン運動 (9) アップダウン運動 (10) アップダウン運動 (11) アップダウン運動 (12) アップダウン運動 (13) アップダウン運動 (14) アップダウン運動 (15) アップダウン運動 (16) アップダウン運動 (17) アップダウン運動 (18) アップダウン運動 (19) アップダウン運動 (20) アップダウン運動 (21) アップダウン運動 (22) アップダウン運動 (23) アップダウン運動 (24) アップダウン運動 (25) アップダウン運動 (26) アップダウン運動 (27) アップダウン運動 (28) アップダウン運動 (29) アップダウン運動 (30) アップダウン運動 (31) アップダウン運動 (32) アップダウン運動 (33) アップダウン運動 (34) アップダウン運動 (35) アップダウン運動 (36) アップダウン運動 (37) アップダウン運動 (38) アップダウン運動 (39) アップダウン運動 (40) アップダウン運動 (41) アップダウン運動 (42) アップダウン運動 (43) アップダウン運動 (44) アップダウン運動 (45) アップダウン運動 (46) アップダウン運動 (47) アップダウン運動 (48) アップダウン運動 (49) アップダウン運動 (50) アップダウン運動 (51) アップダウン運動 (52) アップダウン運動 (53) アップダウン運動 (54) アップダウン運動 (55) アップダウン運動 (56) アップダウン運動 (57) アップダウン運動 (58) アップダウン運動 (59) アップダウン運動 (60) アップダウン運動 (61) アップダウン運動 (62) アップダウン運動 (63) アップダウン運動 (64) アップダウン運動 (65) アップダウン運動 (66) アップダウン運動 (67) アップダウン運動 (68) アップダウン運動 (69) アップダウン運動 (70) アップダウン運動 (71) アップダウン運動 (72) アップダウン運動 (73) アップダウン運動 (74) アップダウン運動 (75) アップダウン運動 (76) アップダウン運動 (77) アップダウン運動 (78) アップダウン運動 (79) アップダウン運動 (80) アップダウン運動 (81) アップダウン運動 (82) アップダウン運動 (83) アップダウン運動 (84) アップダウン運動 (85) アップダウン運動 (86) アップダウン運動 (87) アップダウン運動 (88) アップダウン運動 (89) アップダウン運動 (90) アップダウン運動 (91) アップダウン運動 (92) アップダウン運動 (93) アップダウン運動 (94) アップダウン運動 (95) アップダウン運動 (96) アップダウン運動 (97) アップダウン運動 (98) アップダウン運動 (99) アップダウン運動 (100) アップダウン運動			
3. 学習の振り返りと評価。 (1) 学習の振り返りをする。 (2) 学習の振り返りをする。 (3) 学習の振り返りをする。 (4) 学習の振り返りをする。 (5) 学習の振り返りをする。 (6) 学習の振り返りをする。 (7) 学習の振り返りをする。 (8) 学習の振り返りをする。 (9) 学習の振り返りをする。 (10) 学習の振り返りをする。 (11) 学習の振り返りをする。 (12) 学習の振り返りをする。 (13) 学習の振り返りをする。 (14) 学習の振り返りをする。 (15) 学習の振り返りをする。 (16) 学習の振り返りをする。 (17) 学習の振り返りをする。 (18) 学習の振り返りをする。 (19) 学習の振り返りをする。 (20) 学習の振り返りをする。 (21) 学習の振り返りをする。 (22) 学習の振り返りをする。 (23) 学習の振り返りをする。 (24) 学習の振り返りをする。 (25) 学習の振り返りをする。 (26) 学習の振り返りをする。 (27) 学習の振り返りをする。 (28) 学習の振り返りをする。 (29) 学習の振り返りをする。 (30) 学習の振り返りをする。 (31) 学習の振り返りをする。 (32) 学習の振り返りをする。 (33) 学習の振り返りをする。 (34) 学習の振り返りをする。 (35) 学習の振り返りをする。 (36) 学習の振り返りをする。 (37) 学習の振り返りをする。 (38) 学習の振り返りをする。 (39) 学習の振り返りをする。 (40) 学習の振り返りをする。 (41) 学習の振り返りをする。 (42) 学習の振り返りをする。 (43) 学習の振り返りをする。 (44) 学習の振り返りをする。 (45) 学習の振り返りをする。 (46) 学習の振り返りをする。 (47) 学習の振り返りをする。 (48) 学習の振り返りをする。 (49) 学習の振り返りをする。 (50) 学習の振り返りをする。 (51) 学習の振り返りをする。 (52) 学習の振り返りをする。 (53) 学習の振り返りをする。 (54) 学習の振り返りをする。 (55) 学習の振り返りをする。 (56) 学習の振り返りをする。 (57) 学習の振り返りをする。 (58) 学習の振り返りをする。 (59) 学習の振り返りをする。 (60) 学習の振り返りをする。 (61) 学習の振り返りをする。 (62) 学習の振り返りをする。 (63) 学習の振り返りをする。 (64) 学習の振り返りをする。 (65) 学習の振り返りをする。 (66) 学習の振り返りをする。 (67) 学習の振り返りをする。 (68) 学習の振り返りをする。 (69) 学習の振り返りをする。 (70) 学習の振り返りをする。 (71) 学習の振り返りをする。 (72) 学習の振り返りをする。 (73) 学習の振り返りをする。 (74) 学習の振り返りをする。 (75) 学習の振り返りをする。 (76) 学習の振り返りをする。 (77) 学習の振り返りをする。 (78) 学習の振り返りをする。 (79) 学習の振り返りをする。 (80) 学習の振り返りをする。 (81) 学習の振り返りをする。 (82) 学習の振り返りをする。 (83) 学習の振り返りをする。 (84) 学習の振り返りをする。 (85) 学習の振り返りをする。 (86) 学習の振り返りをする。 (87) 学習の振り返りをする。 (88) 学習の振り返りをする。 (89) 学習の振り返りをする。 (90) 学習の振り返りをする。 (91) 学習の振り返りをする。 (92) 学習の振り返りをする。 (93) 学習の振り返りをする。 (94) 学習の振り返りをする。 (95) 学習の振り返りをする。 (96) 学習の振り返りをする。 (97) 学習の振り返りをする。 (98) 学習の振り返りをする。 (99) 学習の振り返りをする。 (100) 学習の振り返りをする。				3. 学習の振り返りと評価。 (1) 学習の振り返りをする。 (2) 学習の振り返りをする。 (3) 学習の振り返りをする。 (4) 学習の振り返りをする。 (5) 学習の振り返りをする。 (6) 学習の振り返りをする。 (7) 学習の振り返りをする。 (8) 学習の振り返りをする。 (9) 学習の振り返りをする。 (10) 学習の振り返りをする。 (11) 学習の振り返りをする。 (12) 学習の振り返りをする。 (13) 学習の振り返りをする。 (14) 学習の振り返りをする。 (15) 学習の振り返りをする。 (16) 学習の振り返りをする。 (17) 学習の振り返りをする。 (18) 学習の振り返りをする。 (19) 学習の振り返りをする。 (20) 学習の振り返りをする。 (21) 学習の振り返りをする。 (22) 学習の振り返りをする。 (23) 学習の振り返りをする。 (24) 学習の振り返りをする。 (25) 学習の振り返りをする。 (26) 学習の振り返りをする。 (27) 学習の振り返りをする。 (28) 学習の振り返りをする。 (29) 学習の振り返りをする。 (30) 学習の振り返りをする。 (31) 学習の振り返りをする。 (32) 学習の振り返りをする。 (33) 学習の振り返りをする。 (34) 学習の振り返りをする。 (35) 学習の振り返りをする。 (36) 学習の振り返りをする。 (37) 学習の振り返りをする。 (38) 学習の振り返りをする。 (39) 学習の振り返りをする。 (40) 学習の振り返りをする。 (41) 学習の振り返りをする。 (42) 学習の振り返りをする。 (43) 学習の振り返りをする。 (44) 学習の振り返りをする。 (45) 学習の振り返りをする。 (46) 学習の振り返りをする。 (47) 学習の振り返りをする。 (48) 学習の振り返りをする。 (49) 学習の振り返りをする。 (50) 学習の振り返りをする。 (51) 学習の振り返りをする。 (52) 学習の振り返りをする。 (53) 学習の振り返りをする。 (54) 学習の振り返りをする。 (55) 学習の振り返りをする。 (56) 学習の振り返りをする。 (57) 学習の振り返りをする。 (58) 学習の振り返りをする。 (59) 学習の振り返りをする。 (60) 学習の振り返りをする。 (61) 学習の振り返りをする。 (62) 学習の振り返りをする。 (63) 学習の振り返りをする。 (64) 学習の振り返りをする。 (65) 学習の振り返りをする。 (66) 学習の振り返りをする。 (67) 学習の振り返りをする。 (68) 学習の振り返りをする。 (69) 学習の振り返りをする。 (70) 学習の振り返りをする。 (71) 学習の振り返りをする。 (72) 学習の振り返りをする。 (73) 学習の振り返りをする。 (74) 学習の振り返りをする。 (75) 学習の振り返りをする。 (76) 学習の振り返りをする。 (77) 学習の振り返りをする。 (78) 学習の振り返りをする。 (79) 学習の振り返りをする。 (80) 学習の振り返りをする。 (81) 学習の振り返りをする。 (82) 学習の振り返りをする。 (83) 学習の振り返りをする。 (84) 学習の振り返りをする。 (85) 学習の振り返りをする。 (86) 学習の振り返りをする。 (87) 学習の振り返りをする。 (88) 学習の振り返りをする。 (89) 学習の振り返りをする。 (90) 学習の振り返りをする。 (91) 学習の振り返りをする。 (92) 学習の振り返りをする。 (93) 学習の振り返りをする。 (94) 学習の振り返りをする。 (95) 学習の振り返りをする。 (96) 学習の振り返りをする。 (97) 学習の振り返りをする。 (98) 学習の振り返りをする。 (99) 学習の振り返りをする。 (100) 学習の振り返りをする。			

3 授業実践

(1)運動の取上げ方

①用具を操作する運動

②「動きを工夫するための視点」を示す

(2)場の設定

①学習の能率化

②物理的な場の設定

③社会的な場の設定

(3)学習資料

①スライドの投影

②移動黒板での掲示

③創った動きの分類

(4)教材・教具

①ケンステップ（市販教材）

②段ボールオセロ（自作教材：段ボール製）

③縄（自作教材：繊維ロープ）

④フープ

⑤ゴムひも（自作教材：バイク荷台用ゴムバンドを加工）

ゴムひもをひくことで、力強い動きを引き出す運動ができる。ゴムひもを輪にすることで握ったり、指先にかけたりすることが簡単になる。長さの違うゴムひもを数種類用意することで、その長さによって、いろいろな引き方を創造させることができる。長くなるほど体のいろいろな部位を使った動きが出てくる。この時、前に出した手や足（基点）にゴムひもをかけ、腕や上体でゴムひもを引く動き以外に、基点を遠くにする動き（腕や膝を伸ばす）も現れる。「用具を操作する運動」の中で、「力試しの運動」も行える。また、飛ばしたゴムひもを捕ったり、数人で動きを組み合わせたりと発展性のある用具と言える。

(5)学習形態

学習活動の場面に応じた学習形態（個人、ペア、グループ等）を工夫する。

形態	学習活動場面
個人	個々の技能習得（易しい動き）や工夫した動きを創る場面で行う。
ペア	運動を発展させたり、創作したりするような学習展開をするときに行う。

グループ	「競争性の高いもの」「主として単純な動きのもの」「3人以上の動きを組み合わせる場合」をグループで行う。
全体	「動きの工夫」を共有化したり、お互いを評価し合ったりする。また、「ひらめきカード」によって情報交換も行う。

(6) 評価

① 評価計画

診断的評価、形成的評価、総括的評価に分け、指導内容に応じた評価の観点を設定する。評価の方法としては、児童の自己評価や、相互評価、観察法、学習カードの記入内容などを活用していく。

② 具体的評価規準

単元の具体的評価規準は、教師の主観に流されず客観的に学習の到達度の評価ができるようにするために「十分満足できる (A)」、「おおむね満足できる (B)」、「努力を要する子への手だて」の三段階で作成する。

	十分満足できる (A)	おおむね満足できる (B)	努力を要する子への手だて
関心・意欲・態度	①友達と動きについて教えたり聞いたりしながら、進んで活動している。 ②友達の動きを取り入れて自分なりの動きを進んでつくり出している。 ③周囲の安全に気を配っている。危険な行動に進んで助言している。 ④積極的に準備・片付けを行い、意欲的に行動している。	①友達と声をかけ合って、進んで活動しようとする。 ②自分なりの動きをつくり出そうとする。 ③安全に気を配っている。 ④準備や片付けでの自分の役割を果たそうとする。	①友達のように目を見せさせることで自分の活動が深まることを理解させる。 ②少しでもできたことや伸びたところを賞賛していく。 ③活動を中断させ、危険を予測させる。 ④一人ひとりが協力することで楽しく学習できることを理解させる。
思考・判断	①自分にできそうな動きを考えて活動し、うまくいくコツを考えている。 ②自分の考えた動きに友達の動きを加えたり、動きを発展させたりしている。	①自分にできそうな動きを考えて活動している。 ②自分や友達が考えた動きをやってみたり、新しい動きを考えたりしている。	①友達の「工夫した動き」と基となる動きの違いを解説する。 ②基となる動きと友達の「工夫した動き」を一緒に体験してみる。
運動	①体のバランスをとったり移動したりする動きや、用具を操作したり力試しをしたりする動きを身につけることができる。		

③ 評価等の記録について

学習指導中は、児童とともに動けるようにポケットに入るサイズのノートを持つ。観点別評価だけでなく、児童の課題と良さを記録していく。また、授業終了後には児童の動きや評価を追記する。

VII 指導の実際

1 実践事例 ※報告書参照

2 公開検証授業

第4学年 体育科学習指導案

沖縄市立美里小学校4年3組

男子17名 女子18名 計35名

(1) 単元名

「頭を使って『ザ チャレンジ!』」

(多様な動きをつくる運動)

(2) 単元について

①教材観

②児童観

③指導観

(3) 運動の特性

①一般的特性

②子どもから見た特性

(4) 学習のねらいと道筋

①学習のねらい

多様な動きをつくる運動を行い、体を動かすことの楽しさや心地よさを味わうとともに、多様な動きを経験したり、工夫したりする楽しさを味わうことができる。

②学習の道すじ

(5) 学習内容と教師の意図

(6) 評価

①単元の評価規準

②具体的な評価規準

(7) 本時の指導 (6/8)

①ねらい

用具(ゴム)の特徴を活かして、個人で動きを難しくしたり、仲間と協力して楽しみ方を工夫したりするなど、動きを工夫して創り、挑戦して楽しむ。

②授業仮説

ア 「体を移動させる運動」を行う場において、「巨大オセロ」に取り組み、動き方を変化させることによって、多様な動きをつくる運動のねらいである「行い方の工夫」について理解が深まり、運動量を確保できるであろう。

イ 「用具を操作する運動」を行う場において、ゴムひもを活用することにより、

児童の多様な動きを引き出し、「工夫した動き」を創ったり、試したりして、運動を楽しむことができるであろう。

③展開

	学習のねらいと活動	指導者と支援	評価観点と方法
はじめ	ねらい ゴムの特性を活かして、個人で動きを創し、仲間と協力して、安全な場づくりをする。今日の学習のめあてと活動する場の確認をする。	○めあてや学習の流れがわかるように、活動内容を示す。	■実際に動きを創っている。 【関心・意欲・態度】 （学習カード） （行動観察）
なか	2. 多様な動きをつくる運動をする。 （1）「巨大オセロ」(律を移動させる運動+力強い運動)をする。 （2）新しい動き(ゴムひもを飛ばす)を行う。 めあて1: やってみよう ①側で引っ張った後、短いゴムひもを飛ばしてみる。 ②うまく飛ばせる子の動きを見て、動きを見つける。 ・腕の伸ばし方 ・指の使い方 ・腕の力加減など （3）工夫した動きを考え、試す。 めあて2: 工夫してみよう ①ゴムひもを飛ばす方法を考え、試す。 ②ゴムひもの長さを短くしたり、工夫した動きを試したり、さらに付け加えたりする。	○出てゲーム(律を移動させる運動)をした後、「動きの工夫」を児童から引き出し、それを試す。<気づきを生む> ○互に距離から人に向かって飛ばさないことを確認する。 ○できることとできないことを見分けることが大事であることを伝える。 ○友達の見方を見つけるように促す。<気づきを生む> ○一方の手で飛ばすことができれば、もう片方で試してみる。 ○工夫や改善するところについて確認する。 ○称賛する言葉かけをする。 ○動きを工夫することができているか観察し、励ます。	■体のバランスをとって移動したときの動きや、道具を操作した力強い動き。飛ばす動きを身につけることができる。 【運動】 （行動観察） （ひらめきカード） ■自分や友達が考えた動きをやってみたり、新しい動きを考案したりしている。 【思考・判断】 （学習カード） （行動観察） （ひらめきカード）
まとめ	4. 学習の振り返りをする。 （1）学習カードを書く。 （2）楽しかったことやうまくできたようになった事を発表する。 （3）次回は、仲間と協力して動きをつかっていくことを知る。 （4）協力して片付けをする。	○楽しかったことやできるようになったことをまとめること。自分や友達の成長を振り返らせる。 ○協力して片付けをする。	

3 公開検証授業の考察

(1)授業の考察

- ・前時から取り入れた「巨大オセロ」は、コートをも1つしか用意しておらず、6チーム中2チームずつがコートに入り、30秒間で入れ替わるゲームを行った。しかし、全体で1分30秒というゲームの時間中、3分の2の時間を待ち時間として費やしていた。本時は3つのコートを設定し、全員が同時に動けるようにしたところ、1人当たりの運動量が時間にして3倍確保できた。
- ・ゴムひもの長さを短めに設定した。そうすることにより、長さを徐々に長くすることで、挑戦欲求を高めることができたものと考えられる。

(2)研究協議会から

- ・多様な動きを創ることが目的であったはず

なのに、「ゴムひもを遠くに飛ばすこと」だけが目的になってしまい、動きそのものが狭まっていた。上手な子の紹介をする際に「引いている手の動き」や「引いている力」等に視点を向けた方が良かったのではないかと。

- ・「気づき」を生むために、体の動きについてもう少し目を向けさせた方が良かった。「今日の運動ではこの筋肉を使ったね」等、運動と自分の体の動きを結び付けることが大切である。

VII 研究の結果と考察

1「楽しさ」についての理論研究

(1)学習指導要領「体づくり運動」について

「体づくりのための運動の行い方を工夫できる」ようにするために、「動きを工夫するための視点」を児童に持たせるための指導に重点をおいた。「できる動き」を発展させていき、「動きを創る活動」を通して、運動における動きの関連性・系統性に気づかせることにより、ねらいとする「運動の行い方を工夫する力」を育めるものと考えられる。運動の楽しさや喜びを児童が味わうことができるようにするために、「学び方を学ぶ」授業づくりを行った。

(2)体育科における「楽しさ」について

動きの難易度や記録の保存性、動きの発展性を観点にした運動種目の選定が重要となることや、動き方の解釈を整理させるためのワークシート、相互理解させる場、自己有能感を持たせることのできる授業形態等について理解を深めることができた。

(3)運動の取上げ方について

児童が学び方を学ぶのに効果的な指導項目の順序性を考慮し、指導計画の作成を行った。その際、運動種目の選定について、運動の特性から選定の視点を明確にし、指導計画に配置した。

2 運動に対する意識の変化

「体育の授業」が「好き」と答えた児童が

増えた。「自分で動き方を考えたのが楽しかった」等意欲的に取り組んできたことがうかがえる。授業の中で、「易しい動き」から始めたり、自分で動きを工夫したりすることで自己有能感が高まり、課題解決に向け、主体的に学習できた。

(1) 体力について

自分に必要な体力について、5項目（操作のうまさ・やわらかさ・スタミナ・スピード・パワー）全てで数値が増えたことは、自分の体力についての意識が高まったと考えることができる。

(2) 運動遊びについて

生活の中で行われる運動遊びについて、学校生活中（2校時終了後の休み時間・昼休み）と放課後についてアンケートを行った結果、「よく体を動かす」「まあまあ動かす」を合わせた児童の割合が増えた。

3 「学び方を学ばせる」指導の工夫

工夫として、児童に育みたい「視点」、実践できる「用具」、それらを能率的に学ぶ「学習過程」について述べる。

(1) 動きを工夫するための視点を具体的に示す

易しい動きを「質的发展」と「量的发展」の視点を用い、新しい動きを児童に創らせた。その過程で、創り出した新しい動きについて、児童に自分や仲間の体（各部位の動き等）に着眼点を絞らせ、振り返らせることにより、初めの動きと違った点を考えさせた。そうすることで、運動のポイントは「各部位に視点をあてることが大切」ということに気づかせることができた。

(2) 発展性のある用具を活用する

用具の持つ特性と段階性・発展性から取り上げる運動について検討し、「フープ」と「ゴムひも」を取り上げたことで、児童の「行い方の工夫」に広がりを持たせることができた。

(3) 学習過程を工夫する

「動きを工夫し試す」といった学習の中で、

自分の考えを体育学習の中で発言できる児童の割合も増加した。これまで述べた「工夫するための視点」を学ばせることで、「学習の方向性」がはっきりさせることができたことと、「誰にでもできる易しい動き」だからこそ、自分なりに「動きの発展」を創らせることができ、児童が自信を持って学習を進めてきたものと考える。

(4) 児童のかかわり合いについて

ペア学習を中心に授業を展開した。アンケートの結果から、ペア学習について「好き」と答えた児童が大幅に増加したことが分かった。また、検証授業前の実態調査で体を動かす遊びが「あまり好きでない」、体育の授業は「人と比べられるのが嫌」と答えていた児童が「好き」に変容した。授業での動きや、ひらめきカードやワークシート等の考察から、意欲的に授業に参加していたことが分かった。

IX 研究の成果と今後の課題

1 研究の成果

- ・「動きを工夫するための視点」を具体的に示すことで、学び方を学ばせることができた。
- ・「効果的な運動種目の選定・開発」をすることで、動きを工夫させることができた。
- ・「能率的な学習指導」を行うことで、児童の運動量や思考する活動の時間を確保することができた。

2 今後の課題

- ・「工夫するための視点」を活用した「学び方」を他の領域で実践できるように、各運動の特性について研究を深める。
- ・多様な動きをつくる運動を他の領域の「動き」とうまく結び付けられるような、能率的な単元の構成について研究を深める。

<主な参考文献・引用文献>

- ・岩井邦夫 2010『力を合わせて運動能力を高める 小学校体育づくり運動』 明治図書
- ・渡邊彰 今関一 2009『小学校学習指導要領 ポイントと授業づくり』 東洋館出版社
- ・文部科学省 2008『小学校学習指導要領解説 体育編』 東洋館出版社
- ・高橋健夫 野津有司 2008『小学校学習指導要領の解説と展開 体育編』 教育出版
- ・神家一成 2008『体力を高める運動75選』 東洋館出版社
- ・三枝蘭美 2010『にこにこいっばいランドをつくろう（1学年）』 福岡市立別野小学校